



人に
聞けない!

青少年にかかわる人のための

『困りごと』ヒント集



まずは、目次のページを開いてみて下さい。

あなたの『困りごと』は、みんなの『困りごと』
かもしれません。



◆◆◆ この冊子の使い方 ◆◆◆

日頃の活動や業務で困ったことに直面したら、この冊子の目次をながめ、同じような困りごとを見つけたらそのページを読んでみてください。パーフェクトな答えにはなっていないかもしれませんが、解決の糸口となるヒントが得られるかもしれません。そして先輩スタッフなどに相談することも大事です。

また、時間がある時には、左ページの下段にある「囲み」を読んでみてください。これは実際に相談を受けた話ではありませんが、多くの方の協力をもとに、現場で起こりがちな「あるある」を集めてみたものです。それを読みながら、「こういうケースではこうしてみよう」といった自分なりの想定やシミュレーションをしてみることで、実際に遭遇した際の冷静な対応につながるかもしれません。

また、スタッフのミーティングや職場の研修などでケーススタディの題材として事例を使っていただくことや、みなさんの現場（職場）でスタッフマニュアルを作る際の参考にしていただくようなことも想定して、作成しました。それぞれの使い方、ご活用いただければ幸いです。

この冊子は、これから子ども・若者と関わろうとしている方や、比較的経験の少ない方をおもな対象として作成しました。まずはこの冊子を入力と考え、そこからさらに深い学びにつなげていってください。そのための参考文献なども紹介してあります。

なお、この冊子のデータは、webサイトにも公開しますので、団体や職場で共有する際に、ご利用ください。

指導者育成課 | 検索

はじめに

社会環境が刻々と変化する中で、その影響が青少年に現れてきています。例えば、コミュニケーション能力の低下や自己肯定感の低さ、またネット依存による弊害が生じています。

そのような中で、家庭や学校だけでなく、地域活動での多様な体験は重要になってきています。そういう意味で青少年支援・指導者の方々は子どもたちにとって貴重な存在です。

神奈川県青少年指導者養成協議会では、そのような方々のお役に立ちたいと考え、これまで、「アイスブレイキング」「群れ遊び」「グループワーク」などのアクティビティを冊子やDVDにまとめて紹介してきました。

今年度は少し趣を変え、青少年のさまざまな活動において、対応に困った場面をピックアップし、それに関する「ヒント」を提示する冊子を作成しました。掲載されている38の事例は神奈川県内で青少年の活動に携わっている方々にご協力いただき集めたものを、専門部会で精選したものです。広く汎用性のある事例にしようとする事例の選定に多くの時間を費やしました。また、青少年活動を4つの分野「イベント」「キャンプ」「子ども施設」「スタッフ・ボランティア」に分けるのに際して、最善のカテゴリー分けはどうすれば良いのか、何度も話し合いました。

この冊子は、単なるQ&A集ではありません。対応の仕方は千差万別、答えは一つではありませんから、この冊子を読んでいただくことで、複眼的に「困りごと」への対応ができるような内容を目指しました。そして、青少年と活動する中で、役に立つ「心構えの一助」という性格の冊子ができあがりしました。

一人で考え、この方法しかないと考えて進めるよりも、周りの人と協力しながら、青少年の背景や関係性等の情報を共有して対応することにより、青少年支援・指導者の方々の活動がより楽しいものとなることを願っています。

平成29年度神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会委員一同